

▶ 02 - 03 [12月定例会の概要]

▶ 04 [審議結果]

豊橋市のこんなことが
決まりました

▶ 05 - 14 [一般質問]

市政の課題は?

一 般 質 問

▶ 15 [ご案内]

▶ 16 - 17 [議会の活動]

▶ 18 [特集]

発行：豊橋市議会
編集：豊橋市議会だより編集委員会
〒440-8501 豊橋市今橋町1番地
TEL：(0532)51-2920

とよはし市議会だより

UP! | アップ |

みんなの“?”を、みんなの“!”に

2 | 1 February 2019
No.317

特 集
ごみの未来を考える

安心して暮らすことができるまちのために ▶ 18 ページ



上段：高山清掃センター焼却施設(昭和44年～55年)
下段：豊橋市資源化センター(昭和55年～現在稼働中)



豊橋市議会
ホームページ

平成30年12月定例会の概要

◆12月定例会 議案審議◆

会期 12日間 12月3日～14日

豊橋市の

こんなことが決まりました

12月定例会の議案は

市長提出議案…47件

議員提出議案…2件

請願…2件

合計51件

今号では
この中から
Pick up!

議案の内容、審議結果については4ページの一覧をご覧ください。

一般会計予算の補正を行います

●議案

平成30年度豊橋市一般会計補正予算(第8号)

●概要

歳入・歳出をそれぞれ5億8232万7000円増額するものです。

主な歳出の補正内容は以下のとおりです。

県議会議員選挙に係る啓発事務費等、防災備蓄品の補充、後期高齢者医療特別会計操出金、福祉振興基金積立金、子ども医療費助成事業費、公立保育所等でのベビーカー等購入、こども未来館の遊具購入、つじが丘校区地域振興基金積立金、前芝出張所施設改築工事、教育振興基金積立金、家政高等専修学校舎長寿命化改良等工事、小中学校4校のコンクリートブロック塀改修工事等

●議案

平成30年度豊橋市一般会計補正予算(第9号)

●概要

歳入・歳出をそれぞれ58億104万1000円増額するものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

農業用施設の再建費等、小中学校74校の空調設備設置、小中学校44校の鉄筋コンクリート組立塀(万代塀)改修工事



健幸なまちづくりを推進します

●議案

豊橋市健幸なまちづくり条例

●概要

健幸なまちづくりに関し、基本理念を定め、市の責務等を明らかにするとともに、市民の健康づくりのための基本施策等を定めることにより、健幸なまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、条例で規定します。

施行日は平成31年4月1日です。



下水道使用料が改定されます

●議案

豊橋市下水道条例及び豊橋市地域下水道条例の一部を改正する条例

●概要

下水道使用料の額の適正化を図るため、現行条例の一部を改正します。

施行日は平成31年3月1日とし、同年4月分の使用料から適用されます。



公の施設の指定管理者が決定しました

●議案

指定管理者の指定について

●概要

市内の132施設の指定管理者が決まりました。

指定期間は平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間です。ただし、総合体育館、地区体育館、トレーニングセンター、岩田総合球技場ほか2公園施設、豊橋球場ほか10公園施設は平成31年4月1日から平成34年3月31日までの3年間、地域振興施設は供用開始日から平成34年3月31日までです。

施設は以下のとおりです。

公会堂、市民文化会館、三の丸会館、ライフポートとよはし、総合体育館、地区体育館、トレーニングセンター、岩田総合球技場ほか2公園施設、豊橋球場ほか10公園施設、地域福祉センター、老人福祉センター、豊橋駅東西自由連絡通路、駅前大通公共駐車場、松葉公園地下駐車場、豊橋駅(東・西口)自転車等駐車場、二川駅南口自転車等駐車場、地区市民館・校区市民館、神田ふれあいセンター、民俗資料収蔵室、総合福祉センター、老人憩の家、高齢者活動センター、障害者福祉会館、休日夜間急病診療所、休日夜間・障害者歯科診療所、地域振興施設、豊橋総合動植物公園

指定管理者制度の導入について

豊橋市では、公の施設の管理に民間のノウハウを活用し、市民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的とする指定管理者制度を導入しています。



平成30年12月定例会 審議結果

○=賛成 ×=反対 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択

件名	議決結果	会派名 ()内は所属議員数							
		自由民主党(21)	公明党(5)	まちなフォーラム(4)	日本共産党(3)	紘基会(1)	豊橋だいき会(1)	無所属(1)	
補正予算	・平成30年度豊橋市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	×	○	×	○
	・平成30年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	×	○
	・平成30年度豊橋市公共駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	・平成30年度豊橋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)								
	・平成30年度豊橋市水道事業会計補正予算(第1号)								
	・平成30年度豊橋市下水道事業会計補正予算(第2号)								
	・平成30年度豊橋市病院事業会計補正予算(第2号)								
・平成30年度豊橋市一般会計補正予算(第9号)									
条例	・豊橋市議会議員及び豊橋市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○
	・豊橋市つつじが丘校区地域振興基金条例について								
	・豊橋市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例の一部を改正する条例について								
	・豊橋市健幸なまちづくり条例について								
	・豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○
	・豊橋市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について								
	・市長の給料月額の特例に関する条例について								
・豊橋市下水道条例及び豊橋市地域下水道条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	
・豊橋市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	×	○	×	
・豊橋市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について									
・豊橋市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について									
・豊橋市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	×	○	○	
・豊橋市一般職の任期付職員を採用等に関する条例の一部を改正する条例について									
その他	・特定事業の契約締結について(豊橋市斎場整備・運営事業)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	・指定管理者の指定について(11件)								
	公会堂及び市民文化会館、三の丸会館、ライフポートとよはし、総合体育館、地区体育館及びトレーニングセンター、岩田総合球技場ほか2公園施設、豊橋球場ほか10公園施設、地域福祉センター、老人福祉センター、豊橋駅東西自由連絡通路、駅前大通公共駐車場及び松葉公園地下駐車場、豊橋駅(東口・西口)自転車等駐車場及び二川駅南口自転車等駐車場								
	・指定管理者の指定について(11件)	可決	○	○	○	○	○	×	○
地区市民館・校区市民館、神田ふれあいセンター、民俗資料収蔵室、総合福祉センター、老人憩の家、高齢者活動センター、障害者福祉会館、休日夜間急病診療所、休日夜間・障害者歯科診療所、地域振興施設、豊橋総合動植物公園									
・東三河広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	×	○	○	○	
・人権擁護委員候補者の推薦について	異議はない	○	○	○	○	○	○	○	
承認	・専決処分の承認について(平成30年度豊橋市一般会計補正予算(第7号))	承認	○	○	○	○	○	○	○
議員提出	・認知症施策の推進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
	・保育士不足解消のための実効性のある対策を求める意見書								
請願	・放課後児童健全育成事業(学童保育)の充実を求める請願	趣旨採択	趣	趣	趣	採	採	採	趣
	・「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書採択に関する請願	不採択	不	不	趣	採	採	趣	採
陳情	・私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	}	}	}	}	}	}	}	}
	・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情								
	・国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情								
	・保育料軽減等に関する陳情								
	・介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情								
	・保育士の人材定着・確保のため職員配置基準と公的価格の抜本的な改善にむけて国に対し意見書提出を求める陳情								
	・国に対して「待機児童と保育士不足解消のための実効性ある対策を求める意見書」の提出を求める陳情								
	・国に対して「放課後児童支援員等の処遇改善事業に係る事務等の簡素化を求める意見書」の提出を求める陳情								
	・国に対して「学童保育指導員の資格と配置基準の堅持を求める意見書」の提出を求める陳情								
	・透析患者の「生命とくらし」を守るための陳情								

当局において慎重に検討し処置されるよう要望することに決定。

市政の課題は？

一般質問

(12月定例会では18人の一般質問が行われました。)



一般質問とは、市民生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市長などに対して、疑問を問いたただくものです。豊橋市では年4回の定例会でのみ一般質問を行うことができます。

6ページからは本会議の質問・答弁の要旨を、各議員が選んだ1項目ずつ掲載します。

詳しい内容は、市議会ホームページから会議録や録画中継でご覧いただけます。

タイトル	氏名	ページ
台風24号による農業被害支援について	鈴木 みさ子議員	06
動植物公園の運営管理の考え方について	近藤 喜典 議員	06
資源化センターごみ焼却炉について	芳賀 裕崇 議員	07
今年の台風による被災農家支援について	前田 浩伸 議員	07
少子化・人口減少対策について	中村 竜彦 議員	08
本市における情報化施策について	堀田 伸一 議員	08
予算編成の重点事項「RPA」について	尾林 伸治 議員	09
SDGs・持続可能なまちづくりについて	沢田 都史子議員	09
ドイツ・リトアニアとの交流について	宮澤 佐知子議員	10
放課後児童クラブの現況と課題について	川原 元則 議員	10
豊橋市の公園の在り方と利用について	星野 隆輝 議員	11
新アリーナへの対応について	斎藤 啓 議員	11
路上喫煙と受動喫煙防止の対策について	長坂 尚登 議員	12
豊橋市民センターの管理運営について	寺本 泰之 議員	12
豊橋市受動喫煙防止条例(仮称)について	山田 静雄 議員	13
本市における職員の採用について	二村 真一 議員	13
学校給食費無償化の取り組みについて	中西 光江 議員	14
豊橋駅西口駅前地区活性化について	廣田 勉 議員	14

一般質問

台風24号による
農業被害支援について



日本共産党豊橋市議団
鈴木みさ子 議員

動画で
チェック!!

問 9月30日に発生した台風24号による農業の被害状況と、その支援策について聞きたい。また、停電に伴い、豊川用水から貯水したファームポンドからのくみ上げ用ポンプが使えなかったことによる被害の広がりも含め、非常用電源の整備に対する考え方について聞きたい。

答 台風24号では、風速46メートルもの強風が広範に吹き荒れたことから、農業施設はもちろんのこと、露地野菜や果樹などにおいて、風による損傷や塩害が広範囲にわたり発生しました。また、これに伴い市内のほぼ全域で長時間の停電となり、施設園芸では養液供給や環境制御システムの停止による作物の生育不良、酪農では生乳の廃棄に加え、搾乳ができず乳牛が乳房炎を発症するなど、更なる被害が発生しました。これらを合わせて被害額は推計で9億9000万円に上りました。

農業被害に対する支援策については、国が10月31日に台風24号による農林水産被害への支援策を公表しましたので、本市としては、この中に示された、農業用ハウスの撤去、再建、修繕に要する経費を助成する「被災農業者向け経営体育成支援事業」や、次期作に必要な種子、種苗等の生産資材の共同購入に要する経費を支援する「産地活性化総合対策事業」の活用を予定しており、今後、国や県と足並みをそろえ、適切に対応していきたいと考えています。

また、今回の長時間の停電により、施設園芸などの生産設備はもとより、ファームポンドなどの給水設備の電源確保も課題であることを改めて認識しましたので、関係機関と情報共有をしながら勉強していきたいと考えています。

その他の質問項目

・生活保護行政に関わる諸課題について

動植物公園の運営管理の
考え方について



自由民主党豊橋市議団
近藤喜典 議員

動画で
チェック!!

問 豊橋総合動植物公園における負債の状況および市長が就任してから今年度までの一般会計からの予算の繰り入れ額について。また、運営管理に関して、民営化の可能性と民間からの提案募集の考えについて聞きたい。

答 負債の状況については、事業をやめた場合に返済義務がある補助金と交付金の残高を含め、平成29年度末の地方債の現在高は17億9901万4000円となっています。また、交付金に該当する金額は約7億円程度ですが、これは都市公園の環境整備という内容であり、仮に現在の事業をやめたとしても全てを返還することにはならないと認識しています。

次に、市長が就任した平成21年度から平成29年度までの決算額と平成30年度の予算額において、一般会計からの繰り入れ金の合計額は98億5967万1134円となります。

民営化の可能性については、遊

園地やカート場など民間に委託している部分もあり、更なる民間活用について勉強が必要だと認識しています。民間からの提案募集については、全国的に公園PFIがさまざまな公園施設で活用されるようになっており、本市でも「サウディング調査実施の手引き」が作成されたところです。本園においても、民間の活用については、園内の空きスペースなどを対象に更なる魅力創出の可能性が秘められていることから、提案募集についても勉強しているところです。



資源化センター

ごみ焼却炉について

問 1・2号炉が故障したことによる、豊橋田原ごみ処理施設整備計画への影響について。また、炉に関して、導入時と実際の運転開始後における技術的なメリット・デメリット、および新施設における炉方式決定プロセスについて。さらに、地元関係者との協議など、新施設の用地取得のめどについて聞きたい。

答 現在の資源化センター1・2号炉は稼働から16年、3号炉はすでに27年が経過しています。田原市の炭生館も更新が必要な時期であることから、本計画が両市の焼却施設に影響を及ぼすことのないよう、スケジュールを遅らせることなく着実に事業を推進していくことが重要であると考えています。

1・2号炉の技術的なメリットについては、導入時には、ダイオキシン対策に優れている、ごみの容積を大幅に減容する、ごみの持つエネルギーで運転するなどとして運用してきましたが、実際に



まちフォーラム
芳賀裕崇 議員

動画で
チェック!!



は、ゴミの持つエネルギーで運転するという点については、高温空気が加熱機において十分な熱回収ができず、燃料を消費して運転せざるを得ない状況であり、この点がデメリットであると考えています。

新施設の炉方式の決定プロセスについては、最終処分場の負荷や全国の採用実績を考慮して、今後、事業者提案により価格と技術の両面から総合的に評価を行い選定します。

また、新施設の用地取得に関しては、2020年度の用地取得に遅れを来すことのないよう、誠意を持って補償協議に臨み、来年度中に全ての関係者の同意を得られるようしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問項目

・世界首長誓約／日本への参加について
・高齢社会の進展に伴う諸課題への対応について

今年の台風による

被災農家支援について

問 台風は毎年発生し、年々発生回数が増え、大型化している近年の状況を見ると、農業施設や農作業への影響が大きく、今後も被害が発生する可能性は否定できない。そこで、今後の台風被害に対する農業支援の在り方について聞きたい。

答 当面の対応として、今回の国の対策では、ハウスの復旧に併せて施設の補強も支援メニューに加わったので、こうした制度の活用を促していきたいと考えています。

また、今後大型化する台風などの自然災害における農業災害への備えとしては、今回のことを踏まえ、農業共済などの保険制度、平成31年1月からの新たな収入保険、各種保険制度への加入など、関係機関と連携し、農家自らの対策を強く促していきたいと考えています。

しかし、近年の台風をはじめとする自然災害は、威力・数ともに増しているため、施設の補



自由民主党豊橋市議団
前田浩伸 議員

動画で
チェック!!



強・強化や保険制度ではカバーできない場合も想定されます。そのようなときは、国や県からの支援が欠かせないので、今回の経験を生かし、東三河地域が一体となつて迅速に要望活動を行えるよう体制を整えるほか、国の平成30年度2次補正予算に盛り込まれるとされる、防災・減災のための「国土強靱化」緊急対策などの国の施策導入を検討するなど、災害に強い産地づくりに向け、一層取り組みを進めたいと考えています。

その他の質問項目

・本市における災害対応の現状と取り組みについて

一般質問

少子化・人口減少対策
について自由民主党豊橋市議団
中村竜彦 議員動画で
チェック!!

問 今年度から始まった、35歳以下の奨学金の返済残金を抱える若者に、登録企業と市が7500円ずつ折半して返済を一部支援する、若者を呼び込むための奨学金返還支援制度について、これまでの課題と今後の方向性、また、登録企業を増やすための方策について聞きたい。

答 奨学金返還支援制度は、職員による個別の企業訪問や、企業が集まるさまざまな機会を捉えて制度の周知を行った結果、建設業や製造業をはじめとする6業種17社に対象事業者として登録してもらいました。しかしながら、若者を呼び込むためには、更に多くの企業が登録し、また職に就こうとする若者にももっと関心を持つてほしいと考えています。

今後の方向性としては、市内の中小企業に制度に登録してもらう取り組みの強化や、若者向けには、県などの関係機関とも連携し、首都圏をはじめとする

地域内外でのさまざまなイベント等でPRに努め、豊橋の企業に就職すれば奨学金返還の心配がなく、安心して住むことができると思われるような形を目指し、更に拡大していきたいと考えています。

また、登録企業を増やすための方策としては、対象事業者に登録することが若手人材採用のアドバンテージになることをPRするチラシを作成し、職員が個別の企業や中小企業の会合などへ出向き、直接制度の周知を図っていきます。

本制度は今年創設したばかりですので、まずは地道な周知活動が必要と考えていますが、採用につながった企業の事例など、本制度のメリットを発信し、横展開を図ることで対象事業者を増やしたいと考えています。

本市における

情報化施策について

自由民主党豊橋市議団
堀田伸一 議員動画で
チェック!!

問 近年の情報通信技術の進歩は目覚ましく、新たな技術在市役所業務に活用することが不可欠かつ重要と考えるが、このことへの考え方について。また、日々進歩する情報通信技術を踏まえ、平成30年度で終了する「豊橋市情報化計画」について、今後どのようにしていくのか認識を聞きたい。

答 情報通信技術は、市役所業務を革命的に変えるツールであると認識しており、特に、少子高齢化、人口減少が進行し労働力不足が見込まれる将来を見越し、機械が行えることは機械が行うことや、テレワークなどの多様な勤務形態をはじめとした働き方改革の推進を図るべく、技術導入に取り組んでいます。

介護保険、環境分野においては、既にケアプラン作成支援の実施やごみ収集ルート最適化、スマートスピーカーによる自動応答サービスについて、AI技術を活用した実証実験に取り組んでいます。

また、ロボットによる業務の自動化であるRPAについては、税や福祉をはじめ全分野で導入可能な業務の洗い出しを行い、導入に向けたトライアルを実施するなど、先進技術に関する情報を収集し、本市業務への活用の可能性を探っていきたいと考えています。

情報化計画の今後については、現行の計画期間中に出現した課題の解決と、進化の目覚ましい情報通信技術に対応するため、来年度からは、本市の情報化に向けた基本的な考え方を示す内部指針として策定するとともに、その下で情報通信技術を活用した業務の進行管理を行う体制を構築したいと考えています。今後は、この内部指針を「情報化の羅針盤」として、庁内に向け今以上に積極的に情報発信するとともに、具体的な事業化に向けて、技術支援や進行管理する体制の構築を図ります。

予算編成の重点事項 「RPA」について

問 新年度予算編成において、重点事項に新たに加わった推進項目の中から、RPAに対する認識について聞きたい。

答 ロボットによる業務の自動化であるRPAは、定型作業であれば複数のシステムやファイルにまたがって自動化できるツールであり、行政の効率化に寄与するものとして注目を浴びているソフトウエアです。

本市においても、事務の効率化や働き方改革につながるツールであるとの認識から、昨年度から各課の単純定型作業の調査を行い、その導入による効果が見込まれそうな複数の業務において、今年度トライアルを行いました。その中で、RPAツールを活用するためには、運用の見直しが必要なこと、また、シナリオを作成するには一定程度の専門知識が必要となることを認識しました。

今後は、今年度のトライアルを踏まえて、業者によるシナリオ作



公明党豊橋市議団
尾林伸治 議員

動画で
チェック!!



成とともに、職員によるシナリオ作成のスキルアップを図るほか、税・福祉分野などの住民情報システムへの導入に関しては、電子申請への移行を進めるとともに、手書き申請書の読み取りが可能となるOCR技術の活用を踏まえながら、課題や効果を洗い出し、本格導入への検討を進めていきたいと考えています。



その他の質問項目

・本市の浄化槽に関わる取り組みについて

SDGs・持続可能な まちづくりについて

問 SDGsの理念に基づく持続可能なまちづくりについて。また、本市がSDGsの取り組みを更に推進させていくためには、市民や企業を巻き込みながら計画的に推進していくことが必要と思われるが、その対応についての考え方を聞きたい。

答 SDGsには、貧困の撲滅、あらゆる人々の活躍推進、健康・長寿の達成など、世界中の誰一人取り残されない世界の実現という大きな理念が掲げられています。こうしたSDGsの目標には、本市が抱えるさまざまな課題に対応したものも多く、積極的に共有すべきものと認識しています。

SDGsに沿った持続可能なまちづくりの実現には、市民や企業の協力が不可欠であるため、今後はSDGsに対する深い理解の下、より広範な分野の施策にその理念を反映させたいと考えています。そこで、まず市職員一人一人がSDGsに対する理



公明党豊橋市議団
沢田都史子 議員

動画で
チェック!!



解を深めるための研修を実施しているほか、SDGsに関する社会動向を常に注視し、庁内への情報共有を図るなど、意識の醸成と施策への落とし込みに努めています。

また、SDGsの計画的な推進には、本市が達成すべき目標と、その達成に向けた進捗状況などを、市民や企業に明確に示していくことが必要です。そのため、本市の次の10年を見据えた次期総合計画には、SDGsの理念や目標を盛り込み、市民や企業と意識を共有しながら、持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えています。

その他の質問項目

・学校施設における安全対策について

一般質問

ドイツ・リトアニアとの
交流について



公明党豊橋市議団
宮澤佐知子 議員



動画で
チェック!!

問 本市は、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン相手国として、ドイツ、リトアニアとの交流を図っているが、現況と今後の取り組みについて聞きたい。

答 ドイツとの交流については、今年度、本市のパートナーシティであるヴォルフスブルグ市の提携都市が参加した国際青年会議に、市内の高校、大学に通う学生を派遣し、青少年の国際理解の促進を図りました。また、8月には、ドイツから料理人を官民協働で招き、ドイツの食文化に対する市民の理解を深めたところです。

今後、中学生の海外派遣やマラソン交流等を継続するほか、「豊橋日独協会」等による市民レベルでの交流も一層活発になるよう、官民一体となつて取り組んでいきたいと考えています。

リトアニアとの交流については、「リトアニア友の会豊橋」による民間交流をはじめ、大学間交流

や桜丘高等学校による留学生受け入れのほか、市長が2年続けてリトアニアを訪問するなど、友好交流関係が深まってきています。また、本年7月には、市長、議長がパネヴェジス市を訪問し、10月の豊橋まつりにはパネヴェジス市から訪問団を受け入れ、今後の交流に向けて具体的な交流内容の調整を進める旨の覚書を締結するに至っています。

今後とも、東京2020オリンピック・パラリンピックをきっかけとして、市民にホストタウン相手国であるドイツ、リトアニアへの関心を持つてもらおうとともに、両国の応援を通して、市民レベルでの交流の機会を増やしていきたいと考えています。



放課後児童クラブの
現況と課題について



無所属
川原元則 議員



動画で
チェック!!

問 今年度の放課後児童クラブにおける校区外の児童の受け入れ状況、および夏休み期間のみの利用の現況と期間限定の児童クラブの必要性について。また、児童クラブがない校区の子どもたちが夏休みを過ごすことができる場所や、夏休み期間限定の児童クラブを望む声への対応について考え方を聞きたい。

答 校区外の児童の受け入れ状況ですが、授業終了後の開設である通常期において、公営児童クラブでは、クラブまでの移動線の安全確保のため、受け入れを行っておりません。一方、民営児童クラブでは、安全確保が十分できる場合に限り、受け入れを行っているところもあります。

夏休み期間限定の利用については、本年度は4月当初から各クラブで定員一杯や定員を超える受け入れを行っているため、預かっている児童の安全確保を最優先に考え、やむを得ず受け入れを見合わせました。ただし、夏

休み期間限定の児童クラブの必要性は高いと考えています。

また、児童クラブがない校区については、夏休み期間において、これまで近隣の児童クラブで一定数期間限定利用の受け入れができていましたが、限られた場所と定員の関係から、昨年度に比べ、今年度はニーズに十分対応できていない状況です。

児童クラブのない校区の子どもたちや、夏休みのみの利用を望む保護者のための受け皿として、夏休み期間に限定した児童クラブは、対策の一つであると考えています。

その他の質問項目

- ・南海トラフ地震発生時における東三河の広域物資輸送拠点について
- ・本市におけるピクトグラムの現状について
- ・今年度より実施している初期支援校「みらい」の取り組みについて

豊橋市の公園の 在り方と利用について



まちフォーラム
星野隆輝 議員



動画で
チェック!!

問 平成29年の都市緑地法や都市公園法などの改正により、公園の活性化に関する協議会の設置が可能となったことに対する考え方について。また、公園内に児童クラブなどの保育所等施設を設置することが可能となったが、設置の可能性について聞きたい。

答 現在の公園が抱える課題として、公園利用者や周辺住民の考えの違いからトラブルが発生し、結果として、公園内での行為に制限を設け、利用の自由度低下を招いているということがあります。

このような状況から、現在でも公園に生じている課題について地域の関係者や公園管理者が話し合いを重ね、利用ルールの策定や、周辺地域への周知・啓発を図っていますが、今後については、一定規模以上の公園や複雑な課題を抱えた公園などでは、協議会を立ち上げることにより、その効果を発揮することが期待で

きると考えています。これにより、公園を心地よく、より多くの方々に利用してもらうことで公園利用の活性化につながると考えます。

児童クラブなどの保育所等施設の設置については、公園利用に著しい支障を及ぼさないこと、必要やむを得ない状況にあることなどの条件下において設置が可能となりました。

公園はあらゆる市民が集う憩いの場であり、防災など、地域においてさまざまな役割を持つオープンスペースでもあることから、設置については、児童クラブの不足など地域の状況を踏まえる中で、公園の機能を損なわない施設の規模や運営方法等を関係部局と調整を図りながら、慎重に対応する必要があると考えています。

その他の質問項目

- ・豊橋市において安心して働くための施策について
- ・豊橋市のスポーツ施策について

新アリーナへの 対応について



日本共産党豊橋市議団
斎藤 啓 議員



動画で
チェック!!

問 新アリーナ建設を、総合体育館の老朽化・過密化の課題対応とする考え方について。また、プロバスケットボールチームのホームアリーナを受け入れる際に、Bリーグ基準を満たすアリーナの整備が条件としてあったのか。そして、「5000人規模のアリーナ」は、どこがどこに課した条件か聞きたい。

答 総合体育館は、建設以来約30年が経過し、屋根や空調をはじめ、さまざまな箇所に補修の必要が生じており、大規模修繕を行う時期を迎えています。

大規模修繕を行うためには、総合体育館の一部機能や使用期間を制限する必要もあり、市民利用に影響を及ぼすことが想定されます。新アリーナが完成した場合には、総合体育館の修繕期間中においても、新アリーナが代替場所としての機能を果たすことが可能となり、市民利用を中断することなく、迅速な大規模修繕が可能になると考

えています。

また、過密化への対応についても、三遠ネオフェニックスの試合をはじめ、大きな大会が新アリーナでの開催に変更されることにより、土日を中心に総合体育館の利用枠に余裕が生じてくることから、過密化の緩和につながると考えています。

Bリーグ基準のアリーナは、ホームアリーナを受け入れる時点で市側に課されていたわけではありませんが、ホームタウンとしてチームを支えていくということからも、B1基準を満たす施設整備は必要と考えています。

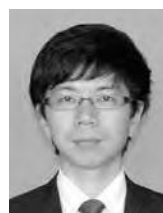
「5000人規模のアリーナ」は、Bリーグが、B1所属のチームに、B1ライセンスを取得する過程の中で必要条件として示しているものです。

その他の質問項目

- ・防災・減災に関わる諸課題について

一般質問

路上喫煙と受動喫煙
防止の対策について



豊橋だいすき会
長坂尚登 議員



動画で
チェック!!

問 「豊橋市快適なまちづくりを推進する条例」では「路上喫煙をしないよう努めなければならない」と定め、この「路上喫煙」には、公園等も含んでいる。公園等での取り組み、豊橋駅周辺の喫煙所の廃止の進捗、そして、本条例を踏まえた「豊橋市受動喫煙防止条例(仮称)の考え方」の見直しについて聞きたい。

答 公園等での取り組みについては、「豊橋市快適なまちづくりを推進する条例」により「喫煙をしないよう努めなければならない」とされているため、灰皿の撤去やたばこのポイ捨て禁止の看板を設置することにより、全体として喫煙をしにくい環境づくりに努めています。

豊橋駅周辺の喫煙所については、条例の施行以降、2か所に設置し、指導員によるパトロールなどを実施することで路上喫煙の防止に積極的に努めてきました。しかしながら、副流煙が通行者に及ぶことから、設置その

ものに反対するご意見も寄せられており、現在廃止に向けて検討しているところです。

「豊橋市受動喫煙防止条例(仮称)の考え方」の見直しについては、屋外の公共の場所で喫煙をしないよう努めることを定める「豊橋市快適なまちづくりを推進する条例」と、屋内での受動喫煙による健康被害の防止を目指す「受動喫煙防止条例」とを合わせて、本市の受動喫煙対策を進めていきたいと考えています。



その他の質問項目

- ・市営住宅入居者の転出や死亡後、家財等が残っており次の入居者が長期間入れなくなっている部屋について
- ・市民や民間事業者からの「意欲的な提案」への対応について
- ・台風などの自然災害等への市補助金の対応について
- ・ごみ処理施設に関するこれまでの経緯を踏まえた認識と今後について

豊橋市民センターの
管理運営について



紘基会
寺本泰之 議員



動画で
チェック!!

問 市民センターの指定管理者である非営利活動法人ピリブは、管理運営に対して提案書を提出しているが、平成29年度収支決算書の人件費が提案書に示された人件費と大きく異なり、突出して高い月がある。その内訳に対し情報公開請求がされているが、いまだ公開されていない。納得できる答えを聞きたい。

答 平成29年度収支決算書は、指定管理業務を適正に遂行した結果であるものと捉えており、総額として問題ないと認識しています。

人件費の内訳については、指定管理料の範囲内で業務が実施されており、人件費についても、ほぼ予定どおりの金額で業務の遂行が確認できていることから、指定管理者が法令等によって行っている雇用契約等に基づいた個別内訳まで確認する必要はないと考えています。



豊橋市民センター(カリオンビル)の外観

その他の質問項目

- ・本市の入札制度について
- ・豊橋駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業について
- ・狭間児童広場の等価交換について

豊橋市受動喫煙防止 条例(仮称)について

問 条例制定に向けた意見募集では、公共的施設の受動喫煙防止強化を目指す方向性を87%が「不適切」とし、市民意識調査では、子どもの利用が想定される公共的空間について、「指定の喫煙所を設け、喫煙所以外は禁煙とする」の回答が6割を超えた。この結果について、どのように考えているか聞きたい。

答 意見募集では、方向性については、「国の法に従うべきであり、市独自の条例は必要ない」「加熱式たばこは規制対象外とするべきである」などが、また、敷地内禁煙の対象施設については、「喫煙者・非喫煙者の共存から分煙を基本とするべきである」「公共施設に飲食店を含めるべきではない」などが、「不適切」とした方々のご意見でした。

これらのご意見の大半は、改正健康増進法の中で一定整理されていると考えており、条例骨子案は、「適切」「不適切」それぞれ多数のご意見を聞きなが



自由民主党豊橋市議員
山田静雄 議員

動画で
チェック!!



ら、改正法の趣旨に沿って本市の取り組むべき受動喫煙防止対策の検討を重ねた結果となっております。

また、市民意識調査の結果については、9月に速報値として報告は受けていました。

調査結果を参考にした上で、本市が条例で定めるべき内容を精査し、総合的に判断して現在の形としています。

その他の質問項目

・豊橋市家庭教育支援条例について

本市における 職員の採用について

問 少子化による若年人口減少下にある現在、慢性的な人材不足は本市の職員採用にも大きく影響を及ぼしている。今後、十分な市民サービスを提供する上で、有能な人材確保に向けた対策が必要と考えるが、本市の新卒採用者確保の状況と確保に向けた活動、および就活ルール見直しへの対応について聞きたい。

答 本市における事務職、技術職などの一般職の採用は、募集人数約80名のところ、昨年度は約700名の応募に対し、今年度は約600名と減少傾向が見られます。そのような中、今年度の事務職の合格倍率は10.2倍と安定的に確保できているものの、土木などの技術職では追加募集を行うなど、確保に苦慮している状況にあります。

新卒採用者確保に向けた活動としては、民間企業などが主催する採用活動イベントへの参加や、本市独自に就職ガイダン



自由民主党豊橋市議員
二村真一 議員

動画で
チェック!!



スを開催し、職員が直接学生に市役所の仕事紹介や魅力を伝えるよう努めているところです。また、首都圏からのUIJターンの促進を図るため、首都圏で学ぶ学生の確保にも努めています。就活ルールの見直しに伴い、民間企業による優秀な人材の早期囲い込み等の影響も懸念されています。本市としては、一般職採用試験における全国統一試験日という制約がある中、他の自治体や民間企業の動向を踏まえ、可能な限り採用日程の前倒しを行ってきたものの、今以上の前倒しは日程的にも厳しいことから、本市の魅力や働きがいなどを十分に伝えることをベースに採用戦略を練り、優秀な職員の確保に向けた活動を充実させていきたいと考えています。

その他の質問項目

・「野外教育センター」「少年自然の家」での活動における自然災害対策について
・データを活用した政策立案について

一般質問

学校給食費無償化の
取り組みについて



日本共産党豊橋市議団
中西光江 議員



問 子育て支援策として、全国で学校給食費の無償化の取り組みが拡大している。今年7月に文部科学省が発表した2017年度の「学校給食費の無償化等の実施状況」の調査結果に対する認識と、本市の給食費の状況について。また、第三子以降の児童生徒の給食費を無償化することについての考え方を聞きたい。

答 文部科学省が行った「学校給食費の無償化等の実施状況」の調査結果は、全国の公立小中学校の給食費について独自で無償化を実施している自治体の状況を調査したもので、1740自治体のうち、小中学校とも無償化を実施している自治体は76団体でした。そのうち71団体が町村で、少子化対策や定住・転入の促進などが目的となっています。なお、本市と同規模の自治体では、給食費の完全無償化は実施されていないと認識しています。
本市の給食費の状況ですが、

学校給食における費用負担について、学校給食法において自治体と保護者の負担する経費が規定されていることから、食料の実費として、保護者に1食当たり小学生230円、中学生265円を負担してもらっています。また、所得が一定基準額を下回る世帯については、就学援助制度の活用により給食費全体を市の負担としています。

第三子以降の給食費無償化については、県内の2市で実施していることは承知していますが、本市においては、第三子以降の児童生徒を特定するための制度運営をするためのシステムを新たに構築する必要があり、就学援助制度等他の施策との整合性を取る必要があること、学校に新たな事務負担が生じることなど、整理すべき多くの課題があると考えています。

その他の質問項目
・幼児教育・保育の無償化の影響と課題について

豊橋駅西口駅前地区
活性化について



まちフォーラム
廣田 勉 議員



問 豊橋駅西口駅前地区は、安全な歩行区間の確保や、送迎や観光バスなどの乗降場所の確保拡充を求める声も多く、また西口広場を利用する方も増えるなど、活性化の必要性は高まっているが、活性化に向けた取り組みとさまざまな課題を踏まえた今後の展開、および方向性について聞きたい。

答 豊橋駅西口駅前地区については、民間による医療施設やホテルなどの都市機能の集積が進み、また西口を利用する観光客が増加していることから、新幹線の停車駅にふさわしい駅前広場、駅前必要性がますます高まっていると認識しています。

現在、各種調査の成果なども参考にしながら、再開発事業者が関係権利者などと再開発の事業内容の合意形成を図っており、市としては再開発事業と並行して駅前広場の整備など、当地区の活性化施策について検討を行っているところです。

今後は、現在検討されている再開発が起爆剤となって更なる民間資金の投入が促進されるように、歩行者の安全確保や観光バスなどの停車場所確保等の課題や、当地区で資産を保有している権利者からの将来の資産活用の意向調査などの成果を踏まえ、駅前広場の整備や都市機能の更なる集積などを図っていきたいと考えています。ふだん公共交通などで当地区を利用している方や、ビジネスや観光で本市へ来る方などが安全で快適、魅力的な駅前だと感じられるような、当地区の特徴を生かしたまちづくりを、関係権利者や再開発事業者、地元の方々との理解と協力を得ながら、時間は掛かると思いますが、着実に進めていきたいと考えています。

その他の質問項目
・新年度予算に対する取り組みと考え方について
・本市における人事管理制度の在り方について

次回 3月定例会 開催予定

月 日	時間	会 議	場 所
2月 19日(火)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
25日(月)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
26日(火)	13時	● 本会議 ● 請願・陳情締切り(～17時)	議場
3月 4日(月)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
5日(火)	10時	● 本会議(代表質問など)	議場
6日(水)	〃	● 〃 (一般質問など)	
7日(木)	〃	● 〃 (〃)	
散会後		予算特別委員会(正副委員長互選)	
8日(金)	10時 散会後	● 予算特別委員会(補正予算審査など) ● 議会運営委員会	第1委員会室 議会運営委員会室
11日(月)	10時 散会後	● 本会議(補正予算議決など) ● 予算特別委員会(新年度予算審査など)	議場 第1委員会室
12日(火)	10時	● 予算特別委員会(新年度予算審査など)	第1委員会室
14日(木)	〃	● 〃	
15日(金)	〃	● 〃	
18日(月)	〃	● 〃	
19日(火)	〃	● 〃	
20日(水)	〃	● 〃	
22日(金)	10時	● 常任委員会(請願審査がある場合)	第2委員会室
26日(火)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
27日(水)	13時	本会議(議決など)	議場

議会を動画で見よう!

● マークの日に、ケーブルテレビで本会議生中継、インターネットで、本会議・委員会の生中継を配信しています。市議会ホームページからアクセスしてください。

議会を議場で見よう!

豊橋市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、豊橋市役所西館8階の傍聴者受付までお越しください。

議会を読もう!

市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行します。ぜひ、皆さんの生活に関わる議会の活動を知る時間にしてください。

議会に参加しよう!

豊橋市議会に対して、陳情等を提出することができます。お手続きに関しては、議会事務局議事課(電話51-2920)へお問い合わせください。

※日程は変更になる場合もあります。傍聴の際には議会事務局(51-2920)までお問い合わせください。

委員会の活動

平成30年5月15日から12月17日まで開催された常任委員会の閉会中の会議をお知らせします。

【総務委員会】

12月17日 ● 平和・交流・共生の都市宣言推進指針(案)について

● 豊橋市多文化共生推進計画2019・2023(案)について

● 豊橋市自転車快適で安全な利用の推進に関する条例(仮称)の考え方について

【総務・建設消防委員会連合審査会】

10月16日 ● 豊橋市「新アリーナ」の建設・運営について

11月30日 ● 新アリーナを核としたまちづくり基本計画(中間報告)について

【環境経済委員会】

6月19日 ● 道の駅「(仮称)とよはし」地域振興施設出店候補者募集について

8月24日 ● 道の駅「(仮称)とよはし」の整備について

10月5日 ● 資源化センターの状況

● 廃棄物処理手数料について

11月21日 ● 豊橋田原ごみ処理施設整備計画(案)について

【福祉教育委員会】

8月20日 ● 豊橋市健全なまちづくり条例(仮称)について

● 豊橋市自殺対策計画(骨子案)について

11月1日 ● 豊橋市図書館基本構想の策定について(中間報告)

● 豊橋市新学校給食共同調理場(仮称)整備等事業について

11月19日 ● 豊橋市受動喫煙防止条例(仮称)の考え方について

● 豊橋市自殺対策計画(案)

● 豊橋市家庭教育支援条例の検証について

【建設消防委員会】

8月7日 ● 新豊橋市中心市街地活性化基本計画

● 現行計画の総括と次期計画の考え方

10月3日 ● 豊橋市上下水道事業経営の在り方について

● 豊橋公園再整備計画変更を検討する必要性について

※右記の会議はインターネットで録画配信しています。



議会の活動

他都市の事例を調査研究 委員会視察報告

他の自治体の先進的な事例を調査研究するため、福祉教育委員会と建設消防委員会が10月24日から26日に、総務委員会と環境経済委員会が11月6日から8日に視察を行いました。

総務委員会

長岡市 バスケットを核としたまちづくり等
について

取り組みの内容・効果等

東京都北区 多文化共生指針について

策定の目的・経緯、具体的な施策等

金沢市 自転車の安全な利用の促進に関する
条例について

条例の内容、具体的な施策等

環境経済委員会

神戸市 港島クリーンセンターについて

余熱利用、防災拠点機能等

大垣市 I・T・O・Tに関する産業支援、
新事業創出について

公益財団法人ソフトピアジャパン
での取り組み等

金沢市 ごみの有料化について

有料化導入経緯と導入後の効果等

さいたま市 桜環境センターについて

施設概要、古紙リサイクル等



神戸市視察の様子



長岡市視察の様子

福祉教育委員会

見附市 スマートウエルネスみつけの取組み
について

健康都市の在り方、推進計画に
対する市民の反応等

千曲市 千曲市家庭教育支援条例について

議員提案条例の影響と効果等

富山市 TOYAMA TOWN TREK
KING SITEについて

施設の概要・設置経緯、健康に
対する市民意識の変化等

建設消防委員会

名取市 スマートインターチェンジについて

設置箇所の選定、整備について

川越市 景観計画について

計画策定の背景・効果、景観形成
に関する行政の取り組みと市民活
動の状況等

戸田市 下水道事業の経営健全化について

使用料改定の背景・状況、公営企業
会計の導入等



戸田市視察の様子



富山市視察の様子



知ってる?

豊橋市の注目事業

議会事務局では他都市からの視察の受け入れを積極的に進めています。ここでは、他都市から特に注目される先進的な事業の一部を紹介します。

平成29年7月に発足 ドローン飛行隊『RED GOBLINS』



豊橋市水防訓練参加の様子

大規模災害時の被害状況の把握手段として小型無人航空機(ドローン)を昨年度から導入しています。ドローン飛行隊は、災害時の出動のほか、市主催の総合防災訓練や水防訓練に参加し、また市の広報や記録のための動画撮影も行っています。

ドローン飛行隊の職員は、毎月操縦訓練等を行っています。今後の活動にご期待ください。

資源からエネルギーを創造する バイオマス利活用センター



バイオマス利活用センター(航空写真)

平成29年10月から稼働を開始したバイオマス利活用センターは、地域バイオマスである、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを微生物の働きによって、発酵する際に発生するバイオガスを燃料として発電を行います。

複合バイオマスエネルギー化施設としては、国内最大規模を誇る施設です。

市民の日に 一日議長を務めました



議長室で写真撮影
(左)伊藤副議長、(中央)上田玲菜さん、(右)藤原議長

一日議長の、一日

- ・一日議長任命
- ・市議会議長室訪問
- ・議場見学
- ・豊橋市自然史博物館視察
- ・「市民の日」の式典に出席

市民の日に、
豊橋温室園芸農業協同組合勤務の上田玲菜さんが一日議長を務めました。



自然史博物館視察の様子



議場見学の様子

特集

ごみの未来を考える

安心して暮らすことができるまちのために

ごみ処理の広域化を推進するため、豊橋市・田原市でごみの共同処理の準備を進めています。その内容について平成30年11月21日に開催した環境経済委員会で調査研究が行われました。

計画策定の背景と目的

近年、自治体が単独でごみ処理を実施することが困難な状況となっており、ごみ処理の広域化が推進されています。ごみ処理施設の集約化は、財政負担の軽減、資源エネルギー回収の向上などさまざまなメリットがあるとされています。

国や県の広域化推進を受けて、豊橋市および田原市はごみ処理広域化の基本的な方向性を示す「豊橋田原ごみ処理広域化計画」を平成26年3月に策定しました。このような背景を踏まえ、新しいごみ処理施設の具体的な整備方針を定めることを目

的として、「豊橋田原ごみ処理施設整備計画」の策定を行うものです。

施設機能の考え方

整備の基本方針として、①市民の生活を守る安全・安心で安定した稼働ができる施設、②環境負荷を低減する環境にやさしい施設、③エネルギーと資源の有効活用を推進する施設、④地域に開かれ、親しまれる施設、⑤経済性に優れた施設を掲げています。

施設の整備予定地は、豊橋市資源化センターの北側(豊橋市豊栄町地内)とし、施設整備の計画

目標年次は、平成36年度(2024年度)としています。

豊橋田原ごみ処理施設で広域処理するものは、豊橋市・田原市の可燃ごみ、不燃ごみおよび粗大ごみとし、施設規模については、焼却処理施設450t/日、粗大ごみ処理施設40t/日としていますが、ごみ処理量の実績やごみ減量施策を分析し、更なる規模の縮小を図り適正な規模を確定します。

この他、環境保全、建築環境、運営計画などについて基本的な考え方を示しています。

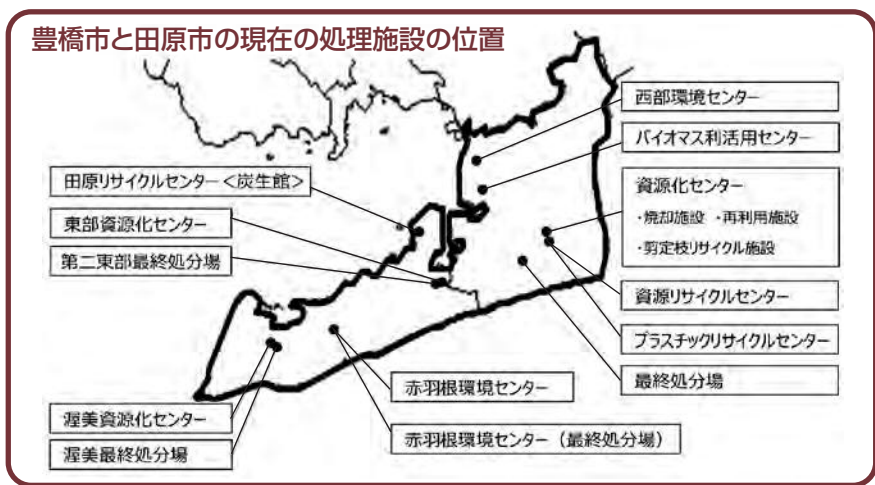
当日の委員会について

委員からは、「計画策定までの豊橋市と田原市での協議」「事業実施における課題とその進め方」「事業費抑制に向けた具体的な方策」などの質疑が交わされました。

当日の委員会の様子はYouTubeでご覧いただけます。「豊橋市議会チャンネル」と検索してください。



豊橋市議会チャンネル



この街とともに、挑む。

三遠ネオフェニックスのユニフォームは、ホームタウン豊橋市の「市の木」でもある「クスノキ」をイメージしています。クスノキは活発な成長力があり、巨樹化する木でもあります。そんなクスノキのように地域とともに成長し、地域にとって大きな存在になっていく決意を表しています。

注目試合

相手は昨シーズン王者。日本バスケ最高峰の戦いを豊橋で!
3/9 14:05 [SAT] **10** 14:05 [SUN] vs **アルバルク東京**
 @豊橋市総合体育館

詳細情報は
こちらから



広告

※豊橋市議会だよりに掲載する広告を募集しています。(広告掲載の申込に要する費用は、広告主負担とします。)詳しくは市議会ホームページの広告掲載募集要項をご覧ください。